

2025年度採用 教員選考試験 合格体験記

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

上原 愛唯

(私立東京農業大学第二高等学校出身)



小学生のときに出会った先生に憧れを抱き、教員になりたいという夢を持ちました。その夢を叶えるため、スカラシップ受験で共愛学園前橋国際大学に入学しました。本学は、近隣小学校での学校フィールド学習、ボランティア活動など、実践的な学びの充実が魅力の1つです。実際の教育現場を経験し、多くの子どもたちと関わる機会があることで、教員としての必要な力を身に付けることができます。

採用試験合格までの道のりを振り返ると、同じ夢を目指し、切磋琢磨し合える児童教育コースの仲間がとても大きな存在でした。面接の練習でも、お互いの良い点を参考にしながら仲間の刺激を受けて、向上心を持って取り組むことができました。また、先輩や教職支援室の先生方にも大変お世話になりました。勉強方法についてのアドバイスや、面接練習など、手厚い支援のおかげで、自信を持って本番に臨むことができました。その他にも、教職を目指す上での悩みなど、様々な相談を個別に対応してくれたので、安心して自分の夢に向かって頑張ることができました。

共愛学園前橋国際大学で多くのことを学び、夢を応援してくれる最高の環境で教員になりたいという夢を実現させてください。応援しています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

赤澤 柊

(太田市立太田高等学校出身)



共愛学園前橋国際大学は、「0 からスタートできる」、そんな大学だと思います。

私は商業科の高校でしたので、いわゆる普通科が学ぶ教科を受けていません。そのため、教師になりたいという目標を持って本学に入学したものの、何となく他の学生と比較して引け目を感じていました。しかし、入学当初、本学の先生から「実業高校だろうが関係ない、自分の努力次第だ。」と背中を押していただき、その言葉を大切にしながら4年間を取り組んできました。私が群馬県で採用を頂いたのは、教職支援室、教職科目を担当してくださってる先生方をはじめ、本学の手厚い支援体制があつてのことだと思っています。皆さんも共愛学園前橋国際大学で、目標に向かって新たなスタートをきれることを応援しています。

群馬県中学校（英語科）教員合格

英語コース

成田 涼真

（群馬県立桐生高等学校出身）



私は教員採用試験に合格するために、まず自分なりに教員になりたい自分の気持ちや動機などを明確にし、ノートに書きました。これは、後々の面接試験に大いに役立っただけではなく、様々な勉強へのモチベーションになりました。また、大学で定期的に受けることになっているTOEICへの勉強は、専門科目の勉強にも繋がり、日々の授業での英語でのやりとりは実技試験に大きく役立ちました。このように、教員採用試験のための直接的な勉強だけではなく、教育実習や日々の授業など、本学での毎日の積み重ねが合格へと大きく導いてくれると、私は自分自身の経験を通じて実感しました。

皆さんにも、「自分が本当に教師になれるのか…」「教員採用試験を突破できるのか…」などたくさんの不安があるかもしれません。でも、きっと大丈夫です！ 皆さんは1人で戦っていくわけでは決してありません！ 本学には、多くの仲間達や全力でサポートをしてくださる先生方がいます！ 私も、沢山の仲間達や先生方、そして教職支援室を頼りながら、将来の夢を叶えることができました。

皆さんが合格することを心より祈っています！頑張ってください！

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

加藤 真尋

（私立共愛学園高等学校出身）



私は小学生の頃の担任の先生に憧れて、小学校の教員を目指すようになりました。共愛学園前橋国際大学では教育実習をはじめ、地域の小学校と連携した学校フィールド学習やボランティア活動など、児童生徒と実際に関わる機会が充実しているため、貴重な経験をたくさんすることができます。また、教員採用試験を受験するにあたっては、何度も心が折れそうになったり、不安になったりしたこともありましたが、教職支援室の先生方が親身になって相談に乗ってくださり、温かいご指導やご支援をくださいました。支えてくださった先生方や、共に切磋琢磨し合った仲間がいたからこそ、合格することができたと思っています。

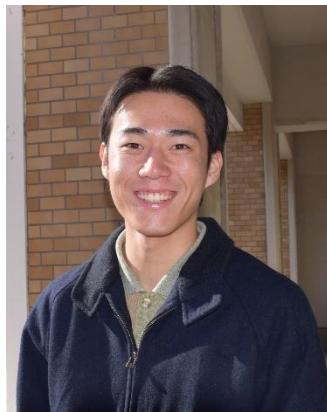
私は、入学する前には想像できないような成長や多くの経験をすることができ、充実した大学生活を送ることができたと思っています。教員を目指している方、興味を持っているという方にとって、本学での4年間は教員にとって必要な資質を身に付けることができる機会や環境が整っています。皆さんも本学での学びが夢の実現に繋がるよう、ぜひ頑張ってください。心から応援しています。

群馬県中学校（英語科）教員合格

英語コース

代田 悠貴

（群馬県立前橋東高等学校出身）



私が教員採用試験に合格できた要因の一つは、本学で毎年定期的に受験することになっている TOEIC 対策の学習に取り組んだことです。英語科の教員を目指していたため、英語力の証明として TOEIC のスコアを高めることは重要だと考えました。試験対策の過程で目標を 900 点に設定し、地道な努力を続けました。特にリスニングとリーディングのスキルを向上させるため、毎日 2 時間以上の学習を欠かさず行いました。

このような TOEIC 対策の学習を通して、時間管理の方法や集中力を身に付けるとともに、苦手分野を分析し、具体的な改善策を立てることを学びました。また、目標の 900 点を超えたことで、英語力に自信が付き、試験本番でも冷静に対応することができ、面接でも「実用的な英語力をどのように授業で活かすか」といった質問に、自信を持って答えられました。

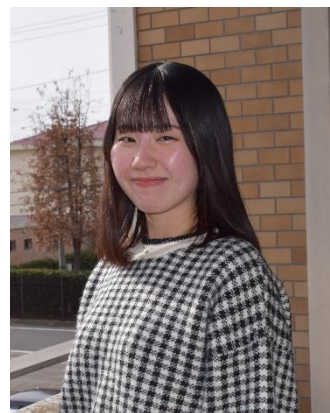
本学に入学したことをきっかけに、TOEIC 対策に全力で取り組んだ経験は、合格の鍵となっただけでなく、教員としての基盤を築く大きな助けとなりました。これからもその努力を忘れず、教壇で生徒たちに英語の魅力を伝えたいと思います。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

浦野 祐未

（私立高崎健康福祉大学高崎高等学校出身）



私は共愛学園前橋国際大学で、「教員採用試験に合格する」という目標を達成することができました。この目標が達成できたのは、私が過ごしてきた環境の影響が大きいと思っています。本学では、一年次から学校現場での実習があり、教師の視点で児童と関わることができました。学校現場では、大学での学びを実践するのみならず、実態に合わせた工夫が必要だということを学びました。そのほかにも、学童でのボランティア活動や、自然体験を通して子どもたちと関わる授業に参加しました。

このような本学での経験を通して、勇気を出して一歩足を踏み出すと、様々な世界が広がっていることを実感しました。また、指導案作成や教材研究等の授業づくりでは、良いものを作りたいという自身の思いを、実現できる環境があり、切磋琢磨しながら自分自身を高めることができました。先生方は、教育に対して熱心です。助けていただいたり励ましていただいたりした場面が非常に多かったです。

教員を目指す皆さんへ。新しいことに挑戦する際には不安がつきものですが、本学での学びは、きっと自分自身の力になると思います。応援しています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

中曽根 駿一

(群馬県立渋川高等学校出身)



私は、高校生の頃に行った学習ボランティアをきっかけに教師を志しました。教育の中でも、特に初等教育に携わりたいと考え本学に進学しました。

大学での学びは、授業や実習、学校フィールド学習などを通して、子供たちと密接に関わる上での基礎を身に付けることができました。学校で身に付けた基礎を、アルバイトの塾講師や高校生から続けている学習ボランティアの活動の中で実践することによって、より深い学びに繋げることができました。

また、教員採用試験の対策では、早い段階から準備を行い、地道な努力を続けたことで、合格することができました。その間、大学の先生方、教職支援室の先生方、友人など多くの方々に支えていただきました。共愛学園前橋国際大学は、「頑張りたい!」「夢をかなえたい!」といった思いを支えてくれる人がたくさんいます。そういった方々に支えてもらいながら夢に向かって全力になれる環境が整っています。

教員になりたいという皆さん、本学で夢に向かって頑張ってください。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

湯本 真尋

(群馬県立前橋東高等学校出身)



私は、中学生の頃に教員という職業に憧れをもちました。そのため、共愛学園前橋国際大学の児童教育コースへ進学し、教員になるために必要な知識や技術などを身に付けられるよう日々の授業に取り組んできました。教育実習や日々の授業はとても大変でしたが、教員になりたいという同じ志を持つ仲間と助け合いながら楽しい大学生活を送ってきました。特に、母校での教育実習と学校フィールド学習は、とても貴重な経験になりました。授業が上手くいかない、教材研究が難しいというような悩みは尽きることはありませんでしたが、授業が上手くいったときや児童生徒の笑顔を見たときの喜びはとても大きく、更に教員になりたいという気持ちが強くなりました。

大学の授業と教員採用試験の勉強を両立させることは大変でしたが、教職支援室の先生方や仲間と支え合いながら勉強に取り組んできたので、自分なりに精一杯頑張ることができました。

夢を叶えるために努力をする中で、辛い思いや挫折を経験することもあると思いますが、どんな夢でも焦らず自分のペースで進んでいくことが大事だと思います。自分の夢に向かって頑張ってください。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

清水 空

(群馬県立前橋南高等学校出身)



私は、教員免許が取得できることや地域と密接して学ぶことができることに魅力を感じ、本学へ入学しました。入学当初、教員への憧れは漠然なもので、実際に自分が教員として働く姿があまり想像できませんでした。しかし、地域の小学校でのフィールド学習やボランティアなどで子どもたちと関わる経験を通して、やりがいを感じることができ、教員になりたいという思いが強まりました。教員採用試験を乗り越えることができたのは、お互いを支え合い、高め合える仲間たちと励まし、助けてくださった先生方のおかげです。特に、教職支援室の先生方には、教員採用試験の勉強の仕方から面接対策まで熱心にご指導いただき、背中を押していただきました。

授業では、教育に関する基礎的な知識だけでなく、現場経験豊富な先生方の持つ専門的な知識を習得したり、模擬授業などを通して実践的に学んだりすることができます。また、同じ志を持つ学生と教育について意見を交わし、視野を広げることができました。

共愛学園前橋国際大学では、先生方が手厚いサポートで教員を目指す学生を応援してくれます。4年間の学びが皆さんの夢の実現に繋がるよう、応援しています！

私立前橋育英高等学校（地歴公民）教員合格

心理・人間文化コース

田島 錬

(私立東京農業大学第二高等学校出身)



私が高校教師を志したきっかけは、保育士である母との会話の中で、「親」や「育児」の課題を目の当たりにし、次の世代を担っていく高校生たちに人間性を養い、幸せな地域社会を築きたいと考えたからです。そして、この思いを実現させるために、共愛学園前橋国際大学に入学しました。

本学は、同学年の横のつながりだけでなく、先輩や教職員の方々との縦のつながりが魅力です。もちろん、採用試験では専門的な学力が必須ですが、決してそれだけではありません。教師として最も必要とされているものは、豊かな人間性であると考えています。世代を超えた人生の先輩方との出会いと交流は、自身の人間観を模索し、成長する絶好のチャンスです。本学にはオープンキャンパススタッフなど、人と人とのつながりを活かした活動がたくさんあります。ぜひ、積極的に活動に参加し、交流を深めていってください。何か大切なものを必ず得られるはずです。

これから教師を目指す皆さんは、挫折しそうな試練にもたくさん出会うかと思います。ですが、戦友たちと切磋琢磨し、最後まで諦めずに粘り強く臨めば、きっと夢を実現できるはずです。自分の軸をしっかりと持って、頑張ってください。応援しています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

清水 歩未

(私立高崎商科大学附属高等学校出身)



私は、小学校、中学校と憧れの恩師と出会い、教員の道を志すようになりました。恩師という理想の教師像を追いかけて、共愛学園前橋国際大学に入学した私ですが、今振り返ると、本学で学んで本当に良かったと思っています。本学は、学生に対しての支援が手厚く、小規模であるからこそ、先生と学生の距離が近く、非常にアットホームな学び場でした。日々の授業や教育実習だけでなく、学校フィールド学習や自然体験活動応援隊、学童ボランティア等々、子どもたちと実際に関わる機会が多くあり、大変ながらも、夢に近づいているという実感を持てる充実した日々を過ごすことができました。

さらに、教員採用試験に向けて、同じ夢をもつ仲間と切磋琢磨し、高い目標に挑み続けた経験は、私の宝物です。また、自己アピール書の添削や面接対策、メンタル面のサポートまでしてくださった教職支援室の先生方には、感謝の気持ちでいっぱいです。この大学で得た経験や学びを糧に、教師としても人としても成長し続けていきたいと思っています。

本学には、心強い味方がたくさんいます。ぜひ皆さんも、強い信念をもって、本学で先生になるという夢を叶えてください。応援しています！

群馬県中学校（英語科）教員合格

英語コース

大木 龍飛

(群馬県立桐生南高等学校出身)



私は、中学生の時にお会いした英語の先生の人柄や、楽しそうに過ごしている姿を見て「教師」という職業に憧れを抱くようになりました。私にとって、「学校生活」は、とても思い出深いものであり、高校生になると、そこで働ける「教師」に興味を持ち始め、なんとなく教師を目指し、英語の教員免許を取得できる本学に進学することに決めました。

本学には、「教職支援室」という教員を目指す学生に対し全面的にサポートをしてくれる体制があります。私自身も小論文の添削や面接練習、様々な情報提供をしていただきました。また、志を共にする友人との出会いが、今まで頑張れた要素として一番大きいです。本学における、他の校種や教科の教員を目指す学生との学びが、様々な考え方を吸収でき、共に支え合いながら自分自身を成長させるために、とても良い環境だったと思います。

今までを振り返ってみると、友人との交流や教育実習、模擬授業の体験などが、教師になりたいという思いを大きくさせたと考えています。「なんとなく興味がある」というところからも、本学で、様々な経験を経ることで、本当に自分の目指したいものが見えてくると思います。頑張ってください。応援しています。

埼玉県小学校教員合格

児童教育コース

北田 爽乃葉

(埼玉県立熊谷西高等学校出身)



共愛学園前橋国際大学の児童教育コースは、小学校の教員を目指す人には、特におすすめできます。それは、実践が多く積めるカリキュラムが充実しているからです。特に「学校フィールド学習」は、私にとって、とても意味のあるものでした。「学校フィールド学習」とは、本学の近くの小学校に一週間実習生として訪問し、先生方のお手伝いや子どもたちの支援を行うというものです。授業などはいませんが、教育実習を行う前に学校の一日の流れや児童との関わり方、先生方の仕事について学ぶことができたため、この経験を活かして教育実習では積極的に行動することができました。

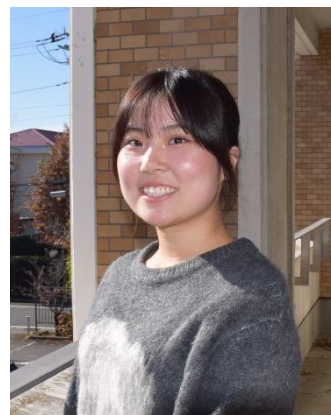
私は埼玉県出身なので、初めは他県の学生への支援も充実しているのか不安でしたが、先生方もコースの仲間たちもたくさん協力してくださったので、埼玉県の教員採用試験に合格することができました。本学は、他県の学生も安心して学ぶことができる場所です！そして、教員を目指す仲間たちが一緒に頑張っている環境もとても良い刺激になり、大変なことも楽しく乗り越えることができます。皆さんも共愛学園の児童教育コースで仲間たちと一緒に学んでみませんか！

群馬県中学校（英語科）教員合格

英語コース

小川 華蓮

(群馬県立藤岡中央高等学校出身)



共愛学園前橋国際大学は、英語だけでなく教職に関してもかなり教育内容や支援が充実していると実感しています。

私は、英語コースで、中学校と高校の英語教員の免許取得を目指し、入学時から教職課程を履修してきました。教職課程の授業は、アクティブラーニングの授業が多く、学年性別関係なく、教員を目指している様々な人と関わります。そのため、人間関係の幅が広がり、わからないことを気軽に相談しあうことができ、楽しんで学ぶことができます。また、模擬授業の機会がとても多く、実際に自分で授業を考え、実践することにより、指導力の向上はもちろん、教育実習に行った際も自信をもって授業を行うことができます。

それだけでなく、本学は、教員採用試験の支援も充実しています。一次試験対策では、教採対策講座で試験の頻出問題や解き方を学ぶことができたり、2次試験対策では、頻出質問をまとめた「面接対策ノート」をもとに練習できたりします。また、教職支援担当の先生はとても優しく親切なので、わからないことがあったら気軽に相談できます。そのため、本番では自信をもって試験に取り組むことができました。皆さんも本学で教員を目指してみませんか。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

大和 雪菜

(群馬県立伊勢崎清明高等学校出身)



私は、高校で出会った憧れの先生がきっかけで教員を目指しました。私は地元の群馬県で働きたかったため、群馬県の大学でかつ学校フィールド学習など様々な実習があり、子どもたちと関わる経験を積むことができる、共愛学園前橋国際大学の児童教育コースに入学しました。

児童教育コースは少人数で学ぶ環境なので、先生方が学生一人一人に親身になって指導をして下さりました。そのため、安心して学習に励めたことはもちろん、子ども一人一人に寄り添った教育の重要性を深く実感することができました。教員採用試験の際は、教職支援室での先生方のアドバイスや面接練習などでの手厚いサポートをしていただいたこともあり、合格をいただきました。また、同じコースの学生とも、1年生の時から大変な授業を乗り越えたことで団結力もあり、授業や実習、採用試験もお互いに支え合い高めあいながら頑張ることができました。このような児童教育コースで、理想の教員を目指して頑張ってください。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

山下 祐奈

(私立東京農業大学第二高等学校出身)



私は、小学校4年生の時の担任の先生との出会いで自分に自信を持てるようになり、その先生に憧れて教員を目指しました。特に小学校の教員になりたいと思っていたので、小学校の教職科目が充実していて、小学校に特化して学ぶことのできる共愛学園前橋国際大学を選びました。

教育法の講義ではどの科目も模擬授業を行ったり、指導案を書いたりして毎日が大変な時もありましたが、そのおかげで教育実習では、指導案づくりや授業実践も大変だと感じずに楽しむことができました。また、本学は、先生と学生、学生同士の距離が近く、少人数授業で手厚い指導と、相談しやすい環境があります。教員採用試験に向けてのサポートも的確なアドバイスをくださるなどとても充実していて、本番では落ち着いて自信を持って受験することができました。

私が合格できたのも、手厚い先生方のご指導と、同じ志を持って勉強を頑張った仲間、家族のおかげだと思います。みなさんも本学で、周りの支えてくれる人への感謝の気持ちを忘れずに、教員になった自分を想像して、勉強や実習を楽しんで頑張ってください。

福島県中学校（社会科）教員合格

児童教育コース

小野田 晃基

（群馬県立沼田高等学校出身）



私が中学校社会科の教員になると決心したのは、大学の紹介で、三年生の時に定期的に行かせていただいた中学校のボランティアです。社会科の先生の授業準備のお手伝いや授業参加、部活動指導など多くの貴重な経験をさせていただき、教員としてのやりがいを強く感じました。

本学で4年間を過ごした今、本当に入学してよかったと心の底から思うことができます。それは、同じく教員を目指す仲間達と親身になってご指導してくださる先生方に出会えたからです。また、本学は他大学と比べて少人数だからこそ、内容の濃い講義や、学校フィールド学習、ボランティア活動など、自分自身を成長させられる環境が整っています。

教員採用試験に向けて、教職支援室の先生方と仲間達に面接練習や模擬授業を見ていただき、アドバイスをいただきました。また、最後まで練習に付き合っていたいただいたおかげで自信を持って試験に臨むことができました。諦めずに頑張れたのはサポートしていただいた教職支援室の先生方と一緒に頑張った仲間達がいたからです。本学は最高の先生方と仲間達に出会うことができます！ 教員を目指す皆さんを心から応援しています！

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

杉藤 綾香

（私立東京農業大学第二高等学校出身）



大学4年間を振り返ると、共愛学園前橋国際大学で学んだからこそ、小学校の教員になる夢を実現できたと思います。

本学には、教職に関する専門的な講義や教育実習に加え、近隣の小学校と連携したフィールド学習など、児童と身近に関わることのできる、本学独自の充実したカリキュラムがあります。講義を通して、教員として必要な知識やスキルを学ぶと同時に、教育現場での実践経験から多くのことを吸収することができました。また、教職に関する学びだけでなく、国際社会や心理学、経済学など多岐にわたる専門分野の講義も選択でき、幅広い知識が得られます。この多様な学びの機会があることが、本学の大きな魅力だと感じています。

また、教職支援室の先生方の存在が教員採用試験合格という目標に大きくつながりました。先生方には日頃から教職に関する情報や授業づくりのアドバイスをいただき、教員採用試験対策では特に面接練習で大変お世話になりました。

本学では、多様な挑戦を通して学びを深める環境があり、先生方の手厚いご支援のもと、仲間と学び合いながら共に成長できます。教員を目指す皆さんも、本学で、夢の実現に歩んでください。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

高橋 舞生

(前橋市立前橋高等学校出身)



私は、中学生の頃に出会った恩師がきっかけで教員を目指すようになり、群馬県で小学校教育を学ぶことができる共愛学園前橋国際大学の児童教育コースへ進学しました。

本学は、小規模大学であることから、教職を学ぶ学生と切磋琢磨しながら、楽しさを共有したり不安を解消し合ったりできる環境が整っています。教職を学んでいく中で、授業づくりや子どもと関わることのやりがいや面白さを知るとともに、難しさや大変さを感じることもありました。しかし、本学で、学校現場で勤務経験がある先生方から具体的なアドバイスを受けることや、小学校での学習支援を経験することを通して、徐々に自信をつけていくことができました。また、教員採用試験に向けた対策は教職支援室を活用することが有効でした。教職に関する資料が多く保管されているほか、担当の先生方が筆記試験や面接の対策に熱意をもって親身にサポートしてくださいました。

本学で、「教員になりたい」という夢の実現に向けて、具体的な目標をもち、何事にも熱心に取り組むことで、充実した学生生活になることを願っています！

私立前橋育英高等学校（地歴公民）教員合格

心理・人間文化コース

齋藤 善

(群馬県立伊勢崎高等学校出身)



まず中学の頃から抱いていた「教師」という夢を応援し、支えてくださった教職支援室、また講義の先生方には、深く感謝申し上げます。教師を目指す同志と切磋琢磨したり、先生方からのきめ細かで手厚い指導を受けたりと、自己を高め、成長できる環境が本学に揃っていたからこそ、自分の夢を実現できたのではないかと感じます。

私が高校教師の内定を頂くまでの間に、多くの失敗と挫折を経験し、「自分の進路はこれでいいのだろうか」と迷い、時には決めた事に対して諦めようとも考えていました。自分の将来と向き合う時間は大切です。ただ一人で悩まずに、同志や先生方に相談してください。きっと背中を押してくれるはずです。私は、本学でそうしてもらえたからこそ、自分で決断したことを、きっちりと貫き、自己実現の第一歩を踏み出すことができました。

高校教師を目指すということは、決して簡単なことではなく、それなりの覚悟が必要です。しかし信じていなければ成し得ないことが、きっと何処かにあるかと思います。「教師になりたい」という目標を抱いている方、是非本学で学び、そして図々しく、強気に取り組んでいってください。心から応援しています。

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

石坂 希

(太田市立太田高等学校出身)



私は、小学校6年生の担任の先生との出会いがきっかけで、先生になりたいという夢を持つようになりました。小学校だけでなく、中学校の英語の先生になりたいという夢も捨てきれなかったため、複数の学校種の教員免許も取得でき、少人数で手厚い指導が受けられる環境が整っている、本学への進学を決めました。4年間の大学生活は、自分の夢に必要な講義ばかりで、気付けば無我夢中で勉強していました。少人数制であるため、必然的に主体的な授業参加で、多くの学びができたり、教科ごとに模擬授業ができたりする点が本学の魅力的な点であると思います。

教員採用試験に向けて、共に切磋琢磨してきた仲間や、教職支援室の方には本当に感謝しています。面接が苦手な私でしたが、教職支援室の方に自分の考えの伝え方や保護者対応のコツなど、沢山のアドバイスを頂いたおかげで、最終的には自信を持って試験に臨むことができました。

教員採用試験に合格し、10年間憧れてきた夢を叶えることができたのは、この大学で充実した日々を送ることができたからです。教員を目指している皆さん、困った時は周りの人と助け合いながら、諦めず自分を信じて頑張ってください！

群馬県小学校教員合格

児童教育コース

埴田 翔平

(群馬県立渋川高等学校出身)



私は、中学生の頃から「教師になりたい」と夢を持っていました。その夢を叶えるために共愛学園前橋国際大学の児童教育コースへと進学しました。児童教育コースには、同じ夢を持った仲間がたくさんおり、日々の大学生活の中で様々な刺激を受け、成長することができました。講義や教育実習など忙しい日々でも、仲間同士で励まし合い、切磋琢磨し成長することができるのが、児童教育コースの強みだと感じます。

また、私が教員採用試験で合格できたのは、熱心に指導してくださった先生方のお陰です。わからないことをすぐにきくことができたり、自分の考えを先生に伝えることができたりした環境は、とても学びやすかったと感じています。特に教職支援室の先生方には、勉強の仕方、面接対策、時には教育実習についての相談にも乗っていただきました。もう一つ、児童教育コースの強みとして、先輩、後輩との繋がりががあります。私は採用試験前の不安な時期に、先輩方から応援メッセージをいただき、自信を持って試験に臨むことができました。「教師になりたい」という夢に向かって、「どんな教師になりたいのか」常に研究し続けることで良い結果がついてくると思います。頑張ってください！

新潟県小学校教員合格

児童教育コース

狩野 裕太

(群馬県立渋川高等学校出身)

私は、小学校の教員になりたいと思い、共愛学園前橋国際大学に入学しました。

大学では、ゼミで地域のイベントに出店したり、聖歌隊や基礎ゼミサポーターに参加したりするなど、様々なことを経験し、何事にもチャレンジをすることができる恵まれた環境で、4年間を過ごしました。

夏の教員採用試験は、残念ながら不合格でした。その時は、臨時採用も考えましたが、自分の中で正規で「教師になりたい」という気持ちが強く、いくつかの自治体で秋の試験を実施することを知り、新潟県にチャレンジしました。

秋試験の受験は、前例がなく、不安もありましたが、教職支援室の先生方に、いろいろご支援いただきながら、面接練習や筆記試験の準備をしていった結果、無事合格することができました。

私のこうした経験から、教員採用試験に合格するポイントを3つ挙げるとすると、1つ目は、教職支援室を最後まで信じて活用すること、2つ目は、ネットや新聞等でリサーチをすること、3つ目は、最後まで諦めないで全力でやりきることです。皆さんが、大学生活を楽しみつつも、教員採用試験に合格できるよう心から応援しています。



群馬県小学校教員合格

児童教育コース

山本 祥一

(群馬県立伊勢崎清明高等学校出身)

共愛学園前橋国際大学の児童教育コースのよさとして、教員・先輩ともに優しく対応してくれることがあげられます。私は、先輩方から、教職科目の履修の仕方や教員採用試験対策など、優しく、丁寧に教えていただきました。

また、教職課程として、1年次から現職教員による講義や教採に合格した先輩方の体験発表が設定されていることや、少人数での授業やグループワークの多さも特徴だと思います。プレゼンテーションや模擬授業をする機会も多く、最初は発表することに抵抗がありましたが、徐々に抵抗感がなくなりました。このことは将来教員になって授業をするときに落ち着いてすることができるので、とてもよいことだと感じました。

共愛学園前橋国際大学で教職を学ぶ中で、教職に関する知識だけでなく他者に伝える力やコミュニケーションをとる力なども身に付けることができたことが、採用試験の合格にもつながったと思います。大学4年間充実した日々を過ごすことができました。



栃木県小学校教員合格

児童教育コース

安藤 大耀

(栃木県立栃木高等学校出身)

私は、小学校のころに担任していただいた先生の影響で、教員になりたいという夢をもちました。実際に教育現場に出て、様々な活動や実習を行う機会が多くあることや、入学してから様々な選択肢を考えることができることなどの理由から、共愛学園前橋国際大学を受験し、入学しました。

大学生活4年間で、多くのジャンルについて学ぶことができました。本学は学部が1つでコースに分かれていることもあり、教職の専門的な学びはもちろん、歴史や心理、情報や経済など1つ1つの学問に関して、高い専門性をもつ先生方の授業を受けることができました。さらに、一緒に授業を受ける同級生も、みんな真剣に取り組んでいて、互いに助け合いながら学び続けることができました。

教員採用試験に向けては、教職支援室の先生方をはじめ、多くの先生方が声をかけてくれ、大学が用意してくれた学びの機会やアドバイスを基に、地道に勉強に取り組むことができました。また、常に同じ方向を向いて取り組んでいる仲間が近くにいたので、励まし合いながら乗り越えることができました。皆さんも本学で夢に向かって頑張ってください。